



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2019年6月1日発行 第9号

ワシントン日本語学校
校長 森 宏 介

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411



理 科 大 好 き

—子どもに大人気・理科の秘密を探る—

5月25日の午後、6年生の理科の学習を参観しました。学習内容は「土地のつくりと変化」。地層のでき方について考えるとともに、出土する化石を観察しようとするものです。授業を受けていたのは、6年生の2つのクラスの子どもたち。どの子も熱心に学習に励んでいました。机の上には、岩石標本が置かれ、前面スクリーンには、地層のモデル図が映し出されています。子どもたちは、標本をじっくりと観察しながら、その特長や違いに目を向けます。

地層は流水によって浸食された土砂等が積み重なってできます。モデル図や説明だけでは理解が難しいことも実験を通すとそれが容易になることがあります。この学習では、理解を確実なものにするために、流水の働きを観察する実験装置を使って、土砂が堆積していく様子を見て確かめるという方法をとりました。



地層のできかたについて考えています (カフェテリア4)

このように、観察や実験をくり返しながら問題解決をする授業だからこそ、子どもたちは楽しいと感じるのでしょう。教室の後方には化石標本が展示されていました。子どもたちがそれを観察する瞬間には立ち会っていませんが、大きな歓声があがったにちがいありません。

因みにこの日、6年の半数の子どもは、教室で「てこのはたらき」について実験を交えながらの学習を展開していました。



じっくりと岩石標本を見比べています

アンモナイトの化石→



サメの歯の化石
約4000万年前 新生代古第三紀始新世
モロッコ (アフリカ)
軟骨魚類であるサメ類は約2億5000万年前から現在まで
生息している生きた化石といわれる生物です。軟骨は
化石になりにくく歯だけが化石で発見されます。

おみやげに持ち帰ったサメの歯の化石

二学期制の実施と通信表について

【二学期制について】

本年度より、二学期制による学校運営を行っています。私がかつて勤務したシンガポール補習授業校も二学期制を採用していました。年間授業日数40日あまりの補習校で三学期制を採用すると、平均して14回の授業日ごとに評価を実施し通知表を作成することになります。このことは不可能ではありませんが評価資料が十分に収集できない段階での評価になりがちです。日本国内でも二学期制を採用する学校が多くなってきたこと、二学期制に対応した副教材や単元テストが準備されていることを考慮すると、二学期制は補習授業校の実態に合致したものであると考えます。

【通知表について】

通知表は、学期ごとのお子様の学習状況を保護者の皆様にお知らせする目的で発行する私文書です。本校の通知表は、学習指導要領の目標と内容に即した評価項目を設定し、どの程度目標に到達したかをそれぞれの目標ごとに示すとともに、総合評価としての評定（小学部3段階、中学部・高等部5段階）を表しています。通知表を受けとられましたら、目標に到達している点に目を向け、児童・生徒の努力を称賛するとともに、目標に到達できなかった点に目を向け、ご家庭でサポートしていただきますようお願いいたします。

【二学期制導入にかかる経過措置について】

通知表は、本来、学期末に発行するものです。したがって、本年度は、前期は10月12日、後期は、3月21日に発行しますが、三学期制から二学期制への移行にあたっての経過措置として、本年度に限り、保護者のご希望があれば、6月29日と12月21日限りで退学される方にも通知表をお渡しいたします。通知表の発行をご希望の方は、少なくとも2週間前までに担任にお申し出ください。準備のため早期の帰国が必要な方のために、1週間前に通知表をお渡しすることも可能です。この場合も、早め（6月8日まで）に担任にお知らせください。



本年度の授業を開始し、2か月が経とうとしています。皆様、いかがお過ごしですか。お子さんは楽しく学校に通っていますでしょうか。私は、ようやく生活の立ち上げが完了し、職務に専念できる環境が整ってきたところです。また、日常の業務を通して、ワシントン日本語学校の素晴らしさを実感していますが、課題も見えてきました。今後、学校運営を通して、課題をひとつずつ解決に導いていきたいと考えています。

そこで、皆様にお知らせとお願いがございます。すでに6月の行事として予告しておりますが、下記の日程で「校長主催の座談会」を開催いたします。

学校は、子どもを望ましい方向に育てることを目的とした組織体です。また本校は、「国際感覚を身につけた、人間性豊かな児童・生徒を育成する」ことを目標に教育活動を展開中です。そのために校内では、連絡会や職員会議を通して、教職員と目標の共有に努めております。また、教育目標に関する保護者の皆様との相互理解も進めていく必要があると考えます。学校と保護者の皆様の認識にずれが生じると、教育上の成果を上げることが難しくなるからです。

私は、今回の座談会を通して、ワシントン日本語学校の現状についての相互理解を深めるとともに、今後の展開についてのヒントを得たいと考えます。

ご多用中とは存じますが、ご参加くださいますようご案内いたします。

記

- 1 日 時：令和元年6月15日 9時30分より
- 2 会 場：聖心SR校1階カフェテリア
- 3 テーマ：共に考えましょう
—補習校とそのあるべき姿—